

主催：一般社団法人東京精神保健福祉士協会 研修委員会

2020年度ファウンデーション研修／オンライン研修



「ソーシャルワークにおける アセスメントの方法例を体験しよう」 ～相談支援事業所での実践に基づくモデル～

ファウンデーションとは『土台』という意味です。ファウンデーション研修は当協会が実施する専門職育成における研修体系の一環として、特に精神保健福祉士のアセスメント・スキルの強化を目的とした研修です。

“ 自分是对象者のことを十分理解できているだろうか ”

“ 支援チームは機能しているだろうか ”

“ 地域・社会に根差した実践ができているだろうか ”

アセスメントの難しさに直面し、そんな不安や悩みを感じることは多くの人にあるのではないのでしょうか。私たちソーシャルワーカーの実践は福祉や医療にとどまらず広がりを見せています。更にコロナ禍のなか、研修の機会が少なくなっていることも不安の原因になっているはずです。

今回は江戸川区を拠点に実践にあたられている吉澤浩一氏を迎え、相談支援の実践、区や都の研修等でも用いられている“実践に基づいたアセスメント手法”を体験する企画を考えました。対象者の理解を深めるだけでなく、私たちソーシャルワーカーの視点を広げること、支援者間の相互理解などにも焦点を当てます。

明日からの実践に活用してみませんか？是非ご参加ください。

開催概要

講師

吉澤 浩一氏

特定非営利活動法人ヒーライトねっと 相談支援センターくらふと



日時

2020年12月13日（日）13:30～17:00

受講料

東京精神保健福祉士協会 会員 : 2,000円
東京精神保健福祉士協会 非会員 : 3,500円

定員

30名 * 申込順、定員になり次第締め切らせて頂きます。

精神保健福祉士として、現に実践を行っている方が対象（経験年数は問いません）

講師紹介

吉澤 浩一氏

特定非営利活動法人ヒーライトねっと 相談支援センターくらふと

相談支援センターくらふとセンター長兼相談支援専門員。1977年群馬県生まれ。2001年精神保健福祉士・社会福祉士資格取得。札幌市の地域生活支援センター勤務を経て2009年から江戸川区に上京。2013年に相談支援センターくらふとを立ち上げ。

現在は、江戸川区相談支援連絡協議会事務局長、東京都相談支援従事者研修検討会委員、日本精神保健福祉士協会代議員、同協会地域生活支援推進委員会委員長、厚生労働省精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業広域アドバイザーなど務める。

申込方法

右のQRコードもしくは、
下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

<https://ws.formzu.net/dist/S24974113/>

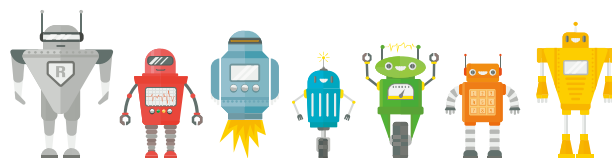


申込締切

11月22日（日）

受講料事前入金締切：11月24日（火）

- * お申込み後に、受講料事前入金のお知らせをメールします。
- * 入金確認をもって受講確定とし、12月1日頃に当日の研修資料と事前課題を郵送でお送りします。入金後の返金は致しかねますので、ご了承ください。
- * 入会キャンペーンにて当協会に入会された方で研修割引クーポンをお持ちの方は、申込みフォームのクーポンの項目を「有」とし、割引金額を差し引いた受講料をお振込みください。



お申し込みにあたっての重要なお知らせ

- 本研修は新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し、WEB会議ツール「Zoom ミーティング (Zoom)」によるオンライン研修です。集合研修ではありませんのでご注意ください。
- 本研修は講義のほか、Zoomの機能を活用してグループワークをおこないます。グループワークではお顔出しでの参加が必須となります。
- グループワークを円滑に進めるにあたり、事前課題に取り組んだうえで本研修に臨んでいただくスタイルとなります。
- メールアドレスを取得していないパソコンまたはタブレット端末では受講いただけません。
- 受講にかかる通信料は、受講者負担となります。
- WEBブラウザ経由での受講はいただけません。Zoomアプリのダウンロードが必須となります。
- 研修当日における受講者側のZoom接続不具合や通信トラブル等について、事務局では対応できませんが、受講が確定した方には事前にZoomへのアクセス練習を検討しています。詳細はメールにてご案内いたします。

問い合わせ

一般社団法人東京精神保健福祉士協会 研修委員会

kensyu@tokyo-psw.com

メールにてお問い合わせください